

VMware Cloud on AWS

モダン エンタープライズ アプリケーションのための ハイブリッド性と一貫性を提供するアプローチ

ソリューションの概要

VMware の Software-Defined Data Center (SDDC) を、専用の伸縮自在な Amazon EC2 ベアメタル インフラストラクチャで実行

VMware とパートナーによる販売、運用、サポート

オンデマンドのキャパシティと柔軟な利用モデル

オンプレミスの SDDC との完全な運用の一貫性

高速かつシンプルな双方向でのワークロードの移行

ワークロードを大規模かつシームレスに移動でき、ハイブリッド運用も可能

実績と将来性を備えた AWS のグローバルなフットプリント、サービス展開、可用性

ネイティブの AWS サービスへのダイレクト アクセスおよび連携

SDDC の作成は 2 時間以内で完了し、ホストのキャパシティの拡張は数分で完了

利用可能な最新の機能については、[VMware Cloud on AWS ロードマップ](#)を参照してください

世界規模でワークロードの増加が進むなか(現在の 1 億 6,000 万から 2030 年までに 5 億 9,600 万に増加)、より優れた俊敏性とグローバルな展開を叶える手段として、パブリッククラウドの活用により高い注目が集まっています¹。多くのお客様にとってパブリッククラウドは、変化の激しいビジネス ニーズへの対応や、イノベーションの加速、初期コスト、運用サポート、総所有コスト(TCO)を適切に管理しながらビジネス要件に応じたコストの調整などを可能にする柔軟性とスピードを備えた手段です。

一方、オンプレミスのインフラストラクチャとパブリッククラウドを連携してシームレスに機能させ、既存のチーム、スキルセット、ツール、プロセスを活用するメリットも認識され始めています。

既存のオンプレミス環境とは異なるパブリッククラウドの導入に伴う課題



パブリッククラウドの導入にあたり、既存の IT スキルセットやツールを**活用できない**



クラウドの規模や俊敏性のメリットがある一方で**運用モデルが異なり**、オンプレミス環境のガバナンス、セキュリティ、運用に関する既存のポリシーを**活用できない**



アプリケーションの移植性と互換性が低く、アプリケーションの実行場所を戦略的に決定する際の**柔軟性に欠ける**ため、ビジネス ニーズへの迅速な対応が難しく、コストが増加



異種混在のクラウド環境を一貫性をもって提供、管理する IT 部門と開発者のニーズとの間にギャップが生まれ、多種多様なエンタープライズ アプリケーションを**柔軟に開発およびモダナイズできない**



プライベートクラウドとパブリッククラウドでインフラストラクチャが異なるため、クラウドへの移行に際して既存のアプリケーションの再構築/リファクタリングが必要になり、リスク、コスト、複雑性が高くなる

89%

の回答者が、オンプレミスとクラウド環境の両方に同じアーキテクチャを使用することが重要と考えている²



1. 『Balancing Freedom and Control: Evolution of the Cloud – 2006-2030』(VMware ホワイトペーパー、2016 年 10 月)
2. VMware Core Metrics Survey 2018 (有効回答数 1,633)

**VMware Cloud on AWS の
主なバリュー プロポジション(価値提案)**

シームレスに統合されたハイブリッド IT 環境で、本番用アプリケーションを
実行、管理、保護できます

既存のスキル、ツール、プロセスを活用
して、プライベートおよびパブリック
クラウドを管理できます

エンタープライズクラスの機能を備えた
VMware の SDDC と、柔軟性に優れた
インフラストラクチャ、そして幅広く
充実した AWS サービスを組み合わせる
ことで、イノベーションを促進し、ビジ
ネス ニーズの変化に対応できます

vSphere を基盤とするプライベート
クラウドとパブリッククラウドの間で
ワークロードをシームレスかつ双方向に
移動できます

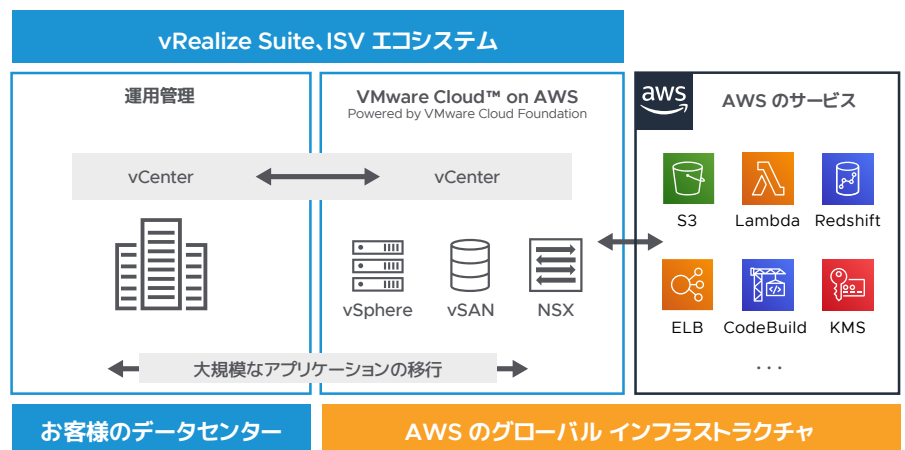
VMware SDDC 全体を 2 時間未満で
稼働させることができ、ホスト キャパ
シティの拡張は数分でできるため、
すぐにメリットが得られます

オンプレミスで使用しているエンター
プライズ クラスのセキュリティ、ガバ
ナンス、運用のポリシーを活用し、AWS
のクラウド環境およびセキュリティ機能
で拡張できます

あらゆる業界で、AWS のクラウドサービスと VMware インフラストラクチャ
の採用が進んでいます。そのため、使い慣れた VMware のソフトウェアを基盤とする
環境で既存のツールやスキルを活用して一貫性のある運用を行えるよう、オンプレミス
のデータセンターと AWS 環境の連携が求められています。VMware Cloud™ on AWS
は、統合的なインフラストラクチャ フレームワークを提供することでプライベートクラ
ウドとパブリッククラウドの「橋渡し」を行い、多くのお客様環境の要件に応えます。実現
するのは、オンプレミスの vSphere 環境を伸縮自在な Amazon EC2 ベアメタル イン
フラストラクチャ上で提供される VMware の SDDC に拡張し、AWS クラウドの一部
として完全に統合させることができる、シームレスな統合ハイブリッドクラウドです。

エンタープライズの IT 部門や運用部門は、VMware Cloud on AWS を活用することで、
新たにハードウェアを購入することなく、既存の VMware ソリューションへの投資を
最大化しながら、ビジネスにさらなる価値を提供することができます。また、ネイティブ
のクラウドサービスへのアクセスにより、変更を伴うことなく迅速、確実かつシームレス
にあらゆるワークロードのキャパシティを拡張および縮小できます。

VMware Cloud on AWS は、VMware vSphere®、VMware vSAN™、VMware NSX™
などの仮想化テクノロジーを連携させた統合 SDDC プラットフォームである VMware
Cloud Foundation™ を基盤としています。VMware Cloud on AWS は、VMware
および VMware のパートナー企業が提供、販売、サポートし、専用の伸縮自在なベア
メタル AWS インフラストラクチャ上で稼働するように最適化されています。多くの
お客様が活用されている AWS クラウド上で提供されるため、その特長である機能、
伸縮性、セキュリティを備える AWS の幅広いサービスが利用可能です。



ユースケース1: クラウドへの移行



お客様にとってのメリット

- 移行に伴う複雑さとリスクの最小化
- 移行の簡素化と迅速化
- 移行コストの削減
- 既存のエンタープライズ アプリケーションの延長活用

関連情報:

[クラウドへの移行ソリューションの概要](#)

ユースケース2: データセンターの拡張



お客様にとってのメリット

- 先行投資と総所有コスト(TCO)の削減
- 迅速なプロビジョニング
- オンプレミスとクラウドの両環境における一貫性のある同一のアーキテクチャと運用による複雑さの軽減
- スケーラビリティの向上:成長とニーズに合わせた購入

関連情報:

[データセンターの拡張ソリューションの概要](#)

ユースケース

VMware Cloud on AWS が提供するシームレスに統合されたハイブリッドクラウド サービスにより、お客様のクラウド戦略に応じたユースケースに対応します。

ユースケース1:クラウドへの移行

複雑な作業をせずにクラウドへの移行を進め、一貫性のあるエンタープライズクラスのクラウドサービスである VMware Cloud on AWS でアプリケーションを実行できます。世界最大クラスの規模と、高い採用実績を誇る AWS のクラウドサービスと VMware のテクノロジーを最大限に活用できるソリューションです。クラウドへの移行後は、VMware Cloud のサービスやネイティブの AWS サービスを活用してアプリケーションをモダナイズすることができます。アプリケーションの再設計をすることなくクラウドに移行できることを希望されているお客様に最適です。

特定のアプリケーションに関するニーズ

特定のビジネス ニーズに対応するため、特定のアプリケーションをクラウドに移行する必要がある場合、または Oracle、Microsoft、SAP などのエンタープライズ アプリケーションをクラウドに移行する必要がある場合

データセンター全体の退避

データセンターを統合し、完全にパブリッククラウドに移行する場合

インフラストラクチャの刷新

ハードウェアの耐用年数の経過やインフラストラクチャ ソフトウェアのアップグレードに合わせてインフラストラクチャの更改を行う一方で、パブリッククラウドへの移行を検討している場合

ユースケース2:データセンターの拡張

世界最大クラスの規模と、高い採用実績を誇る AWS のクラウドサービスで提供される VMware の SDDC にデータセンターを拡張することで、一貫性を保ちながら、ニーズに応じて迅速にキャパシティを調達できるため、ビジネス ニーズに応えることができます。特定のニーズを満たすためにクラウドのキャパシティを活用してオンプレミス環境を拡張することを希望されているお客様に最適です。

規模の拡大/オンデマンドのキャパシティ

- データ主権に関する規則やエンドユーザーの近くにデータを配置する必要性などの理由から、キャパシティに地理的な要件があるものの、新しいデータセンター構築への投資は避けたい。
- オンプレミスのキャパシティに制約があり、季節的な需要の急増に対処できない。
- 予定外の一時的なキャパシティのニーズに対応する必要がある、または新規プロジェクト用のキャパシティを確保する必要があるが、オーバープロビジョニングやオンプレミスへの新しいキャパシティの追加は避けたい。

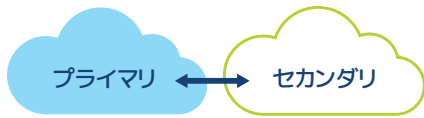
仮想デスクトップと公開アプリケーション

- ハードウェアへの追加投資なしで、オンプレミスのデスクトップ サービスを容易に追加、拡張する。
- 仮想デスクトップや公開アプリケーション ホストをクラウド内の遅延の影響を受けやすいアプリケーションの近くに配置する。
- オンプレミスの Horizon 環境の保護または一時的なニーズへの対応のためのコスト効率に優れた方法として、伸縮自在なキャパシティを利用する。

テスト/開発

オンプレミス環境と同じプロセスで運用可能なクラウド環境で、テストと開発を行う必要がある。

ユースケース 3:
ディザスタ リカバリ



お客様にとってのメリット

- ディザスタ リカバリ用セカンダリサイトのコストの削減
- 保護までの時間の短縮
- ビジネス レジリエンスの強化
- ディザスタ リカバリの運用の簡素化

関連情報:

[ディザスタ リカバリ ソリューションの概要](#)

ユースケース 4:
次世代アプリケーション



お客様にとってのメリット

- 新しいモダナイズされたアプリケーションを迅速かつシームレスに実現
- 既存のオンプレミスのエンタープライズアプリケーションの延長活用

関連情報:

[アプリケーションのモダナイゼーションソリューションの概要](#)

ユースケース 3:ディザスタ リカバリ

VMware Cloud on AWS のディザスタ リカバリ サービスは、ネイティブの自動オーケストレーション、フェイルオーバー、フェイルバック機能により、オンデマンドでのサイト保護が可能です。次のような対応を検討されているお客様に最適です。

ディザスタ リカバリの新規導入

ディザスタ リカバリ ソリューションを初めて導入する。

既存のディザスタ リカバリの置き換え

ディザスタ リカバリの運用をクラウドへ移行する、または既存のディザスタ リカバリソリューションをモダナイズすることで、セカンダリ サイトのコストを削減する。

既存のディザスタ リカバリの補完

特定のアプリケーション向けに、クラウドベースのディザスタ リカバリ ソリューションで追加のワークロードを保護する。

ユースケース 4:次世代アプリケーション

AWS クラウドの機能とサービスにより既存のエンタープライズ アプリケーションをモダナイズし、次世代アプリケーションの開発にモダン アプリケーションのツールやフレームワークを取り入れることができます。

アプリケーションのモダナイゼーション

クラウドスケールのインフラストラクチャとサービスを活用して、既存のエンタープライズ アプリケーションの活用を延長する、または互換性を確保するため、オンプレミス環境と一貫性のあるインフラストラクチャを実現する。

次世代アプリケーションの新規開発

オンプレミスの vSphere 環境と一貫性のあるインフラストラクチャを利用し、AWS のネイティブ サービスを使用して新しいアプリケーションを開発する。

ハイブリッド アプリケーション

データセンター、クラウド、エッジ、またはこれらを組み合わせた環境をまたいで実行されるハイブリッド アプリケーションを構築する。

リソース

VMware Cloud on AWS の詳細情報:

[VMware Cloud on AWS Web サイト](#)

[VMware Cloud on AWS の概要ビデオ](#)

[VMware Cloud on AWS の TCO の概要資料](#)

[VMware Cloud on AWS:クラウドの経済性](#)

[ミッションクリティカルなワークロード向け VMware Cloud on AWS](#)

[VMware Cloud on AWS のハンズオン ラボ\(実際に体験できます\)](#)

[VMware Cloud on AWS のリリース ノート\(更新情報\)](#)

[@Vmwarecloudaws](#) を Twitter でフォロー(#VMWonAWS)

[VMware Cloud on AWS の YouTube チャンネル](#)

[VMware Cloud on AWS:最新のブログや記事](#)

[VMware Cloud on AWS ポッドキャスト](#)



クリックして VMware Cloud on AWS の詳細をご確認ください